



まちづくりの芽.17 ゆっくり楽しく歩き回れるまちを目指して 豊中駅前まちづくり推進協議会

「再整備構想」をきっかけにまちづくりを再生する その4

今号は豊中市の「豊中駅前周辺再整備構想」についての考えをお伝えします。

今回策定された再整備構想には、この駅前の将来の姿が示されていません。銀座通りと一番街の道路の使い方(歩道を広げ車道を狭める)を変えると優先課題の解決から次にどう進むのか全く見えません。豊中駅前周辺の再整備はこれで終わりと考えているのでしょうか。

市が実現化を目指す「駅前のまちづくりについての基本方針」が示されて20数年が経ちます。漸く新市長が駅前の再整備を基本政策として掲げ、3年以上掛けて策定された「豊中駅前周辺再整備構想」ですが、大変残念な内容となっています。

協議会では、市が再整備構想の策定に向け実施したアンケート結果報告会やワークショップなどの取り組みに並行して検討会を7回開催しました。市の構想素案を点検・検討し、住民が考える駅前の将来について話し合い、終盤には「パブリックコメント」に素案の見直しを求める意見を述べました。検討会では「市が考える駅前の未来図は一度も示していない」「優先課題とする銀座通りと一番街の改善が最終目標なのか、それとも第一歩なのか、けやき通りなど他の道路についてはこのままで良いと考えているのか」「この構想には市の本気度が見えない。再び絵に描いた餅になるのではないかなど批判的な意見が多くありました。「ゆっくり楽しく歩き回れるまち」を標語に

掲げ、「いろいろな人が集い 交わり みんなが楽しくくらすまち」を目指す協議会もこの構想のままでは駅前の将来の目標とすることを考え直さなければなりません。

市ではこの再整備構想の説明会を12月から1月に開催する予定と聞いています。

説明会では単に構想の説明をするのではなく、市が考える豊中駅前の将来ビジョンを示し、今回の構想にある銀座通りと一番街の改善を契機に駅前全体の再整備をどのように進めていくのかそのロードマップを示していただきたい。

地元の一人一人のまちづくりへの理解と協力があってこそ事業化に向けての合意を得ることが出来ます。構想にある「まちづくりに向けた地域の取組支援」については、住民との協働の視点から市の考えを示していただきたい。また説明会の呼びかけは自治会や商業団体だけに頼るのではなく、細かく地域を回り案内することを期待します。住民との関係づくりと地域を知ることが実現化の第一歩です。市の本気度を見せて頂きたいと思います。

以上



市主催ワークショップの会場の様子

まちづくり掲示板

089 豊中駅前まちづくり推進協議会

《ちょっと質問》

協議会って出先機関？

「まちづくり協議会って市役所の出先機関？」

Q「いいえ違います。自主的にまちづくりを進めるため、平成5年に豊中市のまちづくり条例に基づき協議会の認定を受けて発足しました」

Q「でも、自転車の啓発活動やスクランブル交差点の改善計画案を提案したり、関西みらい銀行跡の建設に関わったり、市の仕事をしているように見えますが？」

A「このような活動はすべて自主的に取り組んでいます。豊中市から頼まれているわけではありません」

Q「活動資金はどうしているのですか？」

A「殆どの会費収入と一部の寄付金です。発足当時は「豊中駅前まちづくり構想」を作成するための助成金がありましたが、構想を市長へ提出した後は豊中市からの補助金は一切ありません」

Q「会員ってどのような人たちですか？」

A「現在、住民が18名と商店が7店の一般会員、銀行や駅前の企業、商店街などの企業会員が18社、専門的はアドバイスや情報提供してくれる特別会員が3名です」



1995年に策定された「豊中駅前まちづくり構想」

Q「住民とお店の会員が少ないように思いますが、会費はいくらですか？」

A「そうですね。住民と商店こそがまちの主人公ですので、もっと多くの方々に参加して欲しいと切に思っています。会費は年間住民は1口500円、お店は1口1,000円です」



豊中駅前まちづくり推進協議会のホームページが開設されました！

<https://toyonaka-machikyo.com/>

今まで協議会からの情報発信は「豊中駅前まちづくりニュース」でした。新聞折り込みを中心に駅前のマンションへのポスティング、駅前広場と「こもれびガーデン(一番街入り口)」の掲示板への掲出など紙媒体に頼ってました。出来るだけ多くの皆さんにまちの動きや協議会の活動などを伝えたいとの思いを持ちつつ限られた方々への情報発信になっていました。

このたびネット社会への乗り遅れを挽回すべく、ホームページを立ち上げることと相成りました。やっとまちづくりの情報や協議会の活動などを速やかに、詳細に地域に伝えることが出来ます。みなさんの意見交換、情報交換の場として活用していきます。ホームページを開設することで大げさに言えば全世界中に情報発信ができることとなりますので、伝達力は大きく伸びることになります。反面、衆目を集めることにもなりますので、今まで以上に気を引き締める覚悟で臨みます。ご期待ください。



上記QRコードでアクセスできます。

まちを元気にする 豊中駅前のお店めぐり

一番街を少し西に入ったところにある「ひぐち陶器」さんを紹介しましょう。

お洒落な建物の1階にあるお店には、京焼や有田焼、常滑焼を中心とする陶磁器や、山中塗りのお椀等々、ご家庭で普段使っていた色とりどりの「うつわ」がきれいに並べられています。お店は新開地ビルの建て替



ひぐち陶器店頭



ひぐち陶器店内

006 ひぐち陶器

えに伴って現在のところへ移ってきました。お客さんは近隣の方々が中心ですが、中には真面や吹田市からお越しになる方もいらっしゃるか。

「食事は生活の基本となるものですから、お気に入りの食器で、楽しんでお料理を召し上がっていただけるよう、お客様のご要望を良くお伺いし、永く使い続けたいただけるものをお勧めすることを心がけています。基本的には毎日開いていますので、お時間のある時にゆっくりとご来店下さい」(店主談)とのことです。

本町1丁目11番16号

ひぐち陶器

「海外まち事情」103 オーストリア

ザッハトルテは生クリームと一緒に

ここはオーストリアの首都ウィーン。ホテルザッハーのカフェで、有名なザッハトルテを食べています。ザッハトルテはチョコでコーティングしたケーキ全般を指すようになったけど、オリジナルはウィーンのこれ。注文すると、ケーキにたっぷり生クリームが添えられています。ケーキにはアンズのジャムが入っていて、チョコもすごく甘いけど、生クリームが刺激の強い甘さを抑えて、すごく美味しい。正規のザッハトルテはウィーンでもホテルザッハーとデメル2店舗しか食べられないから、土建屋純はハシゴして両方食べました。満腹で夕食はパスしたけど、楽しかったなあ。



